GRIPS
政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES

科学技術イノベーション政策プログラム
概要

GRIPS

Gateway to Global Leadership

科学技術イノベーション政策プログラムとは

GiST GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program

政策研究大学院大学の科学技術イノベーション政策プログラムは、科学技術イノベーション政策に関する高度な学問的ならびに実務的専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務を行うことができる高度専門職業人や、科学技術イノベーション政策に関する高度な研究能力を有する研究者の育成を行います。

本プログラムは、科学技術イノベーション政策に焦点をおいて修士号と博士号の授与を行う教育課程です。

教育活動

正規プログラム

- 科学技術イノベーション政策プログラム（博士課程）
- 科学技術イノベーション政策プログラム（修士課程）
- 公共政策プログラム科学技術イノベーション政策コース（修士課程）

短期プログラム

- 履修証明プログラム（科目等履修生制度を活用したプログラム）

育成する人材像

- 国の科学技術イノベーション政策に携わる中央省庁の行政官
- 研究開発の実施や資金配分を担う組織で企画立案や評価などのマネジメントに携わる職員
- 地域において科学技術イノベーション関連の政策に携わる地方自治体職員
- 大学で研究開発のマネジメントに携わる教職員やリサーチ・アドミニストレーター(URA)
- 企業や非営利組織において研究管理やイノベーション創出に携わる担当者
- 大学や公的研究所等において科学技術イノベーション政策に関する研究ならびに教育を行うことを目指す者
- その他、科学技術イノベーション政策に関心があり、実務や研究に携わることを目指す者

期待される修学成果

- 科学技術イノベーションとその政策に関する学術的知識を有し、それらを政策課題に対して応用することができる能力
- 公共政策に係る知識を持ち、それらの文脈の中で科学技術イノベーション政策をとらえ、分析ができる能力
- 科学技術イノベーション政策の課題を対象に、科学的アプローチに基づき、問題を設定し、仮説を構築し、定量的・定性的データ等を活用して分析を行い、それらを政策提言としてまとめ、政策形成者に対して示しコミュニケーションできる能力
- 科学技術イノベーション政策の形成や実施の実務に関する理解を有し、理論と実務を架橋した実践的な政策提言ができる能力
- グローバル社会において異なる価値観や制度を尊重し、その中で科学技術イノベーション政策を理解してコミュニケーションする姿勢を持ち、リーダーおよびフォロワーとしての役割を自覚して活躍できる能力

科学技術イノベーション政策プログラム博士課程　概要1

- 標準修業年限：３年
- 修了要件：カリキュラムに掲げる授業科目から、14単位以上（注意事項：次ページ参照）を取得し、博士論文提出資格試験（Qualifying Examination）に合格の上、博士論文の最終審査に合格すること。

課題研究 （必修科目）	コースワーク （選択必修・選択科目）	
4単位	10単位以上	合計14単位以上 ※次ページ参照

- 学位：博士(公共政策) / Ph.D. in Public Policy
- モデルスケジュール：

1年目				2年目				3年目			
春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
コースワーク （選択必修・選択科目10単位以上）											
Research Seminar Ⅰ （必修1単位）		Research Seminar Ⅱ （必修1単位）		Research SeminarⅢ （必修1単位）		Research SeminarⅣ （必修1単位）		Research Seminar Ⅴ （選択必修1単位）		Research SeminarⅥ （選択必修1単位）	
				博士論文提出資格試験 （10単位以上履修後に受験可能）						博士論文 最終審査	

科学技術イノベーション政策プログラム博士課程　概要2

- 夜間および土曜日に開講されている科目だけでも、修了に必要な単位が取得可能なため、仕事を継続しながら修学することができます。

- 2021年度より、修了要件の単位数を20単位→14単位に変更。
  ただし、GRIPSの科学技術イノベーション政策プログラム修士課程を修了するなど、科学技術イノベーション政策に関する学修歴が無い場合には、修了要件14単位を超えて、これまで同様に20単位程度の取得をプログラムとして推奨します。

科学技術イノベーション政策プログラム博士課程　概要3

【基礎的科目】

科学技術イノベーション政策概論／イノベーション創出のエコシステム／
科学技術イノベーション政策立案演習／サイバーセキュリティ／AI政策実践論／
戦略マネジメントとイノベーション／Politics of Innovation、他

【応用科目】

オープンイノベーションと産学連携／科学技術イノベーション政策と評価／
ビブリオメトリクスとその応用／科学技術とアントレプレナーシップ／

特許・知財制度と知財マネジメント／デジタルトランスフォーメーション政策／
Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context、他

【参考】

2026年度カリキュラム

https://gist.grips.ac.jp/STI_DoctoralCurriculum2026.pdf

2026年度時間割

https://gist.grips.ac.jp/STI_D_TimeTable2026.pdf

科学技術イノベーション政策プログラム修士課程　概要1

- 標準修業年限：２年
- 修了要件：カリキュラムに掲げる授業科目から合計30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査に合格すること。

課題研究 （必修科目）	コースワーク （選択必修・選択科目）	
3単位	27単位以上	合計30単位以上

- 学位：修士（公共政策）
- モデルスケジュール：

		1年目				2年目			
		春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
コースワーク （選択必修・ 選択科目）	27単位以上	８単位	２単位	８単位		８単位	１単位		
修士論文指導 （必修科目）	３単位			科学技術イノベーション政策論文演習Ⅰ		科学技術イノベーション政策論文演習Ⅱ		科学技術イノベーション政策論文演習Ⅲ	

科学技術イノベーション政策プログラム修士課程　概要2

夜間および土曜日に開講されている科目だけでも、修了に必要な単位が取得できるため、仕事を継続しながら修学することができます。

【基礎的科目】
科学技術イノベーション政策概論／イノベーション創出のエコシステム／
科学技術イノベーション政策立案演習／戦略マネジメントとイノベーション、他

【応用科目】
科学技術イノベーション政策史／科学技術外交論／科学技術イノベーション政策と評価／
ビブリオメトリクスとその応用／科学技術とアントレプレナーシップ／
特許・知財制度と知財マネジメント／デジタルトランスフォーメーション政策、他

【参考】
2026年度カリキュラム
https://gist.grips.ac.jp/STI_MastersCurriculum2026.pdf
2026年度時間割
https://gist.grips.ac.jp/STI_M_TimeTable2026.pdf

公共政策プログラム
科学技術イノベーション政策コース（修士課程）

フルタイムで集中的に修学する公共政策プログラム内の1年制のコース

- 標準修業年限：１年
- 修了要件：
  カリキュラムに掲げる授業科目から合計30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査に合格すること。
- 学位：修士（公共政策）
- カリキュラムは、グローバルな視野と教養を身に着けるための科目等からなる必修科目、公共政策および科学技術イノベーション政策に係る基本的な理論や手法等を学ぶための選択必修科目、幅広い内容と特定分野における専門知識について学ぶことができる選択科目　から構成されています。

【参考】

2026年カリキュラム（以下URLのP1-2）

https://www.grips.ac.jp/uploads/education/2026/03/4-5_J_Masters_Program_Curriculums.pdf

※コース指定5科目は、科学技術イノベーション政策プログラムとの共通科目のため、夜間および土曜日に実施します。

2027年度入学　博士課程入試日程

	第1回試験	第2回試験
出願期限	2026年11月27日(金)	2027年5月7日(金)
第1次審査結果発表	2027年1月8日(金)	2027年6月14日(月)
第2次審査（オンライン面接）	2027年2月4日(木) または2月5日(金)	2027年7月1日(木) または7月2日(金)
第2次審査結果発表	2027年2月25日(木)	2027年7月28日(水)
入学時期	2027年4月または10月	2027年10月

募集要項および提出書類書式は、以下をご覧ください。

https://www.grips.ac.jp/jp/admissions/guidelines/

2027年度入学　修士課程入試日程

	第1回試験	第2回試験
出願期限	2026年10月9日(金)	2027年1月15日(金)
第1次審査結果発表	2026年11月5日(木)	2027年2月3日(水)
第2次審査（オンライン面接）	2026年11月12日(木) または11月13日(金)	2027年2月9日(火) または2月10日(水)
第2次審査結果発表	2026年11月25日(水)	2027年2月25日(木)
入学時期	2027年4月	2027年4月

- 募集要項および提出書類書式は、以下をご覧ください。
  https://www.grips.ac.jp/jp/admissions/guidelines/
- 公共政策プログラム科学技術イノベーション政策コース（修士課程）は、フルタイム修学のため、勤務先がある場合は、入学手続きの際に、本学所定の様式により、所属長が大学の研究に専念することを認める就学許可書の提出をお願いしています。

2027年度入学　授業料等

- 入学料　282,000円
- 授業料　642,960円（年額）

これまでの入試結果

		博士課程		修士課程（２年制）国内出願		修士課程（１年制）国内出願	
		出願数	合格者数	出願数	合格者数	出願数	合格者数
2026年度	海外出願	5	1	ー	ー	ー	ー
	国内出願	7	6	14	10	4	1
2025年度	海外出願	12	1	ー	ー	ー	ー
	国内出願	10	3	13	9	3	0
2024年度	海外出願	17	3	ー	ー	ー	ー
	国内出願	11	8	13	11	2	1
2023年度	海外出願	9	1	ー	ー	ー	ー
	国内出願	7	4	5	5	2	2
2022年度	海外出願	17	2	ー	ー	ー	ー
	国内出願	7	4	13	7	1	1

海外出願：留学生、　国内出願：主に日本人　　（2026年8月現在）

在学生・修了生の所属先

修士課程	
内閣府、文部科学省、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、総務省、外務省、防衛省、デジタル庁、内閣サイバーセキュリティ センター、東京都、静岡県、科学技術振興機構、国際協力機構、日本貿易振興機構、理化学研究所、海洋研究開発機構、東京大学、聖路加大学、シンクタンク、コンサルティング ファーム、メーカー・情報通信業等の民間企業 （2026年4月1日現在）	
博士課程	
中央省庁	内閣府、経済産業省、外務省、原子力規制庁、防衛省
地方自治体	静岡県
団体等	科学技術振興機構、日本貿易振興機構、宇宙航空開発機構、国立国際医療研 究センター、人間文化研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、駐日英国大使館、国連開発計画（UNDP）、笹川平和財団海洋政策研究所、日本貿易保険、タイ国 家高等教育科学研究イノベーション政策事務局（NXPO）、ベトナム 科学技術省、米国陸軍、インドネシア研究開発省、エジプト石油・鉱物資源省、エジプト電力省、中華経済研究院（台湾）、Finlay Vaccine Institute (キューバ)、シンクタンク、コンサルティングファーム、他
大学	東京大学、電気通信大学、Mehran University of Engineering and Technology（パキスタン）、Ateneo de Manila University（フィリピン）、Thammasat University（タイ）、他 （2026年4月1日現在）

修士論文

年度	テーマ
2025	人文・社会科学分野における若手研究者の研究活動志向と研究分野発展の葛藤：歴史学および政治学の事例
2025	エルサルバドルにおける公共拠点CUBOの実証的検討 ―治安上の制約下で社会包摂を支える空間の役割とイノベーション―
2025	中国の特色あるナショナル・ディフェンス・イノベーション・システム ―デュアルユース時代における国防装備開発モデル―
2025	研究開始時における社会実装意識の早期埋め込みは終了時の研究展開の充実に寄与するのか
2025	日本をオリジナルとする医薬品研究開発の促進　輸入赤字を減らす考察とステージアップ時の補助指標
2025	参入障壁の高い産業の科学技術イノベーション政策に関する事例研究
2025	全国医療情報プラットフォーム構築期における地域の医療情報連携ネットワークの再定義 ～負の遺産か、制度的資産か～
2025	防衛装備品の研究開発におけるスピンオン／スピンオフ促進のための制度設計に関する研究 ―研究開発段階間の制度的接続に着目した日米比較と政策提言―
2024	サイバーセキュリティ領域におけるインシデントと研究論文の動向分析
2024	デジタルシフトの普及加速に向けた組織的条件の検証
2024	Altmetrics指標としてのINDIRECT X mentionsの提案 ― ウェブニュースおよびブログを介したX上での論文拡散 ―
2024	核融合領域を事例とした，ディープテックの産業化における公的支援の効果検証
2024	博士人材を取り巻く環境分析　―民間企業の研究開発活動と国内研究力の俯瞰―
2024	日本のリーダー企業はグローバルにイノベーティブになれるか　――民間企業の研究活動に関する調査を使った実証分析――
2024	我が国産業振興の成功事例からみる「リーダーシップ」の在り方への示唆 ～イノベーティブな政策の実現を目指して～
2024	地球観測衛星データの利活用促進に係る阻害要因の解明と施策の提言

博士論文

年度	テーマ
2025	大学発スタートアップとそれを取り巻くエコシステムの技術分野別分析：国際比較における日本の特徴
2024	Open Science and the Transformation of Research Practice: The Impact of Open Research Data on Emerging Modes of Scientific Discovery
2024	Science, Technology, Innovation in the Gulf: Security, Institutions, and Agents of Change in the GCC
2024	Techno-Economic Analysis of Hydrogen and Ammonia Production in Isolated Microgrids for Sustainable Development
2023	Towards a Decarbonized and Sustainable Energy System : Multi-Criteria Decision-Making Applications for Evaluation of Energy Efficiency Projects and Hydrogen Production Technologies
2022	Essays on Evaluation of Global Health Policy on Tuberculosis Control
2022	Fostering Further Participation in Agri-Food Business Global Value Chains: A Multiple Case-Study on Intermediary Roles and Capabilities in the Philippine Rice and Mango Industries
2021	Renewable Energy Policy and Investment Decision-Making in Electricity Markets（再生可能エネルギー政策と電力市場における投資の意思決定）
2021	Influence of Systemic Analytical Capacity on Policy-relevant Knowledge Production and Utilization: Case of Science of Science and Innovation Policy

履修証明プログラム（短期プログラム）概要１

- 科学技術イノベーション政策や研究開発戦略の分析、企画・立案、運営、評価に必要な知識と方法の基礎を学修できる社会人向けのプログラムです。

- 本学修士・博士課程の正規授業科目から構成されており、科目等履修生制度を活用することで、単位認定をします。正規課程に進学した場合には、所定の手続きにより、単位の移行が可能です。

- 履修可能な科目（6単位）
  科学技術イノベーション政策概論
  イノベーション創出のエコシステム
  科学技術イノベーション政策立案演習

履修証明プログラム（短期プログラム）概要２

- 開講スケジュール
  2027年6月～7月の土曜日および8月の3日間（予定）

- 受講料等
  検定料　9,800円　受講料　114,600円

- 募集期間
  12月中旬～1月下旬（予定）

募集要項等の詳細は以下に掲載します（１２月中旬予定）。
https://gist.grips.ac.jp/education/shortprogram.html
※現在は2026年度開講の募集要項が掲載されています。

教育訓練給付金制度

厚生労働省が実施する教育訓練給付金制度の指定講座となりました。

教育訓練給付金制度とは、受給資格のある方が受講の2週間以上前に、最寄りのハローワークで手続きをし、要件を満たすことで、費用の一部が給付されるものです。https://www.mhlw.go.jp/content/001155029.pdf

- 科学技術イノベーション政策プログラム（修士課程）
- 履修証明プログラム
「科学技術イノベーション政策・経営人材養成短期プログラム」

NOTE：

・科学技術イノベーション政策プログラム（博士課程）および公共政策プログラム科学技術イノベーションコースは本制度の指定講座ではありません。

・本制度は一度支給を受けると、次の支給申請まで3年以上が経過している必要があります。申請する際はよくご検討ください。

教育訓練給付金制度①

科学技術イノベーション政策プログラム（修士課程）

・専門実践教育訓練給付金制度　指定講座

・要件を満たした場合、受講費用（入学料および授業料）の50%（年間上限40万円）が半年ごとに給付されます。

・修士課程を修了年限の2年で修了し、ハローワークにて、必要な手続きをした場合は、費用の70%（年間上限56万円）で給付金が再計算され、既支給分の差額が給付されます。

・上記に加え、令和6年10月1日以降に受講を開始する方は、要件を満たし（訓練終了後の賃金が受講開始前の賃金と比較して5%以上上昇した場合）、ハローワークにて、必要な手続きをした場合は、費用の80%（年間上限64万円）で給付金が再計算され、既支給分の差額が給付されます。

https://www.mhlw.go.jp/content/001310141.pdf

教育訓練給付金制度②

履修証明プログラム
「科学技術イノベーション政策・経営人材養成短期プログラム」

・特定一般教育訓練給付金制度　指定講座

・要件を満たした場合、受講費用の40%（年間上限20万円）が給付されます。

・上記に加えて、追加要件を満たし、ハローワークにて、必要な手続きをした場合は、費用の50%（年間上限25万円）で給付金が再計算され、既支給分の差額が給付されます。

https://www.mhlw.go.jp/content/001310140.pdf

お問い合わせ

入試に関する問い合わせ

政策研究大学院大学　アドミッションズオフィス
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
E-mail: admissions@grips.ac.jp

GRIPS Gateway to Global Leadership

プログラム関する問い合わせ

政策研究大学院大学　科学技術イノベーション政策プログラム
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL：03-6439-6043
E-mail: gist-ml@grips.ac.jp

GiST GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program